



バンドン工科大学 地球科学技術学部



Faculty of Earth Sciences and Technology,
Institut Teknologi Bandung

●学部学生 約14,300人 ●大学院生 約5,400人 ●教職員 約2,600人

ホームページ <https://www.itb.ac.id/>

交流協定締結年月日：2018年8月7日

主管学部：四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構

国際交流の特色

バンドン工科大学(ITB)の設立は、1920年の「de Technische Hogeschool de Bandung」にさかのぼり、インドネシア初の技術系高等教育機関です。1959年に現在の「Institut Teknologi Bandung：バンドン工科大学」となりました。地球科学技術学部、数学・自然科学部など12の学部があり、大学院（修士課程および博士課程）が設置されています。ITBは今日、インドネシアにおける最も優れた理工系大学と評価されるようになってきています。また、海外の多数の大学と国際交流協定を締結しており、活発な国際交流を行っています。卒業生は政府、産業界、教育界などで活躍しています。

大学のあるバンドンはジャワ島西部にある都市です。年間を通して日中の気温が27℃-28℃で熱帯にありながら涼しく過ごしやすい環境です。

交流実績（令和4年度～令和6年度）

年度	R4	R5	R6
受入・派遣			
学生の受入	4	0	0
学生の派遣	0	0	0
研究者・職員の受入	2	9	1
研究者・職員の派遣	1	1	2
オンライン交流参加者（本学）	12	8	1
オンライン交流参加者（相手機関）	78	0	1

バンドン工科大学 (ITB)



協定調印式



セミナー講演



学生・スタッフとの交流



小学校での防災訓練



教員からの声

インドネシアは日本と同様に地震、津波ならびに火山被害の多発国です。インドネシアのバンドン工科大学は、元はインドネシア大学の工学部という位置づけで発足した国内有数の大学です。地球科学技術学部では地震・津波に関わる地質や地殻変動研究ならびに被害軽減のための啓発や避難訓練なども積極的に実施しています。2018年の研究連携協定の締結を契機にバンドン工科大学地球科学技術学部と連携して減災科学研究を推進してきました。

これまで活断層地域を訪問し復興計画策定や防災教育連携促進を目指しています。2023年には金田特任教授は本大学の招聘教授として授業や減災科学の普及を推進しており、2025年にも本校を訪問し、減災科学研究に関する意見交換を予定しています。

四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構
特任教授 金田義行